

第三條 職務ニ依リ傷痍ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ退隱料ヲ請求スル者ハ前條ニ掲クル書類ノ外尙左ノ書類ヲ添付スヘシ官吏恩給法第六條ヲ適用スヘキ者亦同シ

一 現認證書若クハ事實ヲ證スル公文ノ寫又ハ口供書

二 醫師ノ診斷書

第四條 退隱料請求書ヲ受ケタル府縣知事ハ查覈ノ上請求ノ理由アリト認ムルトキハ退隱料年額計算書ヲ作り證據書類ヲ添ヘ文部大臣ニ差出スヘシ

府縣知事ニ於テ請求ノ理由ナシト認ムルトキハ意見ヲ具シテ之ヲ文部大臣ニ差出スヘシ

第五條 文部大臣ニ於テ前條ノ請求ヲ許可シタルトキハ退隱料證書ヲ作り府縣知事ヲシテ之ヲ本人ニ交付セシム但退隱料増加ノ爲更ニ退隱料證書ヲ交付スルトキハ前ニ交付シタル證書ヲ返納セシム

第六條 國庫ヨリ他ノ退隱料又ハ恩給ヲ受クル者又ハ受クヘキ權利ヲ有スル者ニシテ府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法ニ依リ退隱料ヲ請求スルトキハ同時ニ國庫ヨリ他

ノ退隱料若クハ恩給ヲ受ケサル旨ヲ請求書ニ記載スヘシ

第七條 府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法第十條第一項ニ依リ給與金ヲ受クヘキ者ハ給與金請求書ヲ作り在職中ノ履歷書ヲ添付シ退職ノ際勤務セシ學校所屬府縣知事ニ差出スヘシ

府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法第十條第三項ニ依リ給與金ヲ受ケサルコトヲ申立ツル者ハ府縣知事ノ承認ヲ受クヘシ

前二項ノ場合ニ於テ郡市町村ノ設立ニ係ル學校ノ職員ニ在テハ其所屬郡市町村長ヲ經由スヘシ

府縣知事ニ於テ本條第一項ノ請求ヲ許可シタルトキハ辭令書ヲ作り之ヲ本人ニ交付スヘシ

第二章 扶助料ノ請求

第八條 府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法第十二條第十三條第一項第十

四條ニ依リ扶助料又ハ扶助金ヲ受クヘキ者ハ扶助料請求書又ハ扶助金請求書ヲ作り親族二名親族ナキトキハ近隣ノ戸主二名連署シ市町村長ノ證明ヲ經退隱料ヲ受ケスシテ死去シタル者ノ遺族ニ在テハ死者ノ最終勤務セシ學校所屬府縣知事ニ退隱料ヲ受ケ死去シタル者ノ遺族又ハ扶助料ノ轉給ヲ受クヘキ者ニ在テハ居住地ノ府縣知事ニ差出スヘシ

府縣知事郡市町村長ハ其所屬公立學校職員遺族ノ扶助料又ハ扶助金ヲ受クヘキ者アルトキハ扶助料又ハ扶助金ノ請求上必要ノ書類ヲ遺族ニ交付スヘシ

第九條 扶助料請求書又ハ扶助金請求書ニハ市町村長ノ證明シタル戶籍調書及左ノ書類ヲ添付スヘシ

一 府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法第十二條第一第二第十四條ニ當ル者ノ請求書ニハ府縣知事ヨリ交付シタル死者ノ履歷書

二 府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法第十二條第三ニ當ル者ノ請求書ニハ死者ノ退隱料證書

三 官吏遺族扶助法第四條第二項ヲ適用スヘキ者ノ請求書ニハ傷痍若クハ疾病ノ職務ニ起因シタル證據書類醫師ヲシテ診察セシメタルトキハ其診斷書及退隱料ヲ受ケスシテ死去シタル者ノ遺族ニ在テハ本條第一ノ書類退隱料ヲ受ケ死去シタル者ノ遺族ニ在テハ本條第二ノ書類

四 扶助料ヲ受クル者死去シ又ハ權利消滅シタルトキ其扶助料ノ轉給ヲ受クヘキ者ノ請求書ニハ前者ノ扶助料證書

五 公權停止ニ依リ扶助料ノ轉給ヲ受クヘキ者ノ請求書ニハ前者ノ確定裁判ノ宣告書寫

六 官吏遺族扶助料法第十五條ヲ適用スヘキ者ノ請求書ニハ其事由ヲ詳記シタル書類醫師ノ診斷書及退隱料ヲ受ケスシテ死去シタル者ノ孤兒ニ在テハ本條第一ノ書類退隱料ヲ受ケ死去シタル者ノ孤兒ニ在テハ本條第二ノ書類公務ニ起因スル傷痍若クハ疾病ニ依リ死去シタル者ノ孤兒ニ在テハ本條第三ノ書類扶助料ノ轉給ヲ受クヘキ孤兒ニ在テハ本條第四ノ書類

第十條 扶助料請求書又ハ扶助金請求書ヲ受ケタル府縣知事ハ查覈ノ上扶助料年額計算書又ハ扶助金計算書ヲ作り證據書類ヲ添ヘ文部大臣ニ差出スヘシ
文部大臣ニ於テ前項ノ請求ヲ許可シタルトキハ扶助料證書ヲ作り府縣知事ヲシテ之ヲ本人ニ交付セシム其扶助金ニ係ルモノハ辭令書ヲ用フ

第十一條 國庫ヨリ他ノ扶助料ヲ受クル者又ハ受クヘキ權利ヲ有スル者ニシテ府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法ニ依リ扶助料ヲ請求スルトキハ同時ニ國庫ヨリ他ノ扶助料ヲ受ケサル旨ヲ請求書ニ記載スヘシ

第十二條 府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法第十三條第二項ニ掲ケタル給與金ノ請求等ハ扶助金ノ例ニ依ル但癩疾若クハ不具ニシテ產業ヲ營ムコト能ハサル者ノ請求書ニハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

第三章 退隱料扶助料ノ支給及停止

第十三條 退隱料支給ノ期ハ退職ノ翌月ヨリ始マリ死去ノ月ヲ以テ終ルモノトス
退隱料又ハ扶助料ハ其年額ヲ四分シ四月七月十月一月ニ於テ其前三箇月分ヲ本人居住地ノ府縣知事ヲ經テ支給ス但權利消滅ノトキ及給與金扶助金ハ期月ニ拘ラス之ヲ支給ス

第十四條 退隱料又ハ扶助料ヲ受クル者其金額ヲ受領セントスルトキハ退隱料證書又ハ扶助料證書ヲ以テ其受領權アルコトヲ證明スヘシ

第十五條 退隱料ヲ受クヘキ權利消滅シ若シクハ停止セラレヘキ者ノ支給ノ終始ハ左ノ各項ニ依ル

一 失職ニ該當スヘキ現職中ノ所爲確定シタルトキハ其確定ノ日禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルト

キハ確定裁判ノ宣告ヲ受ケタル日日本臣民タルノ分限ヲ失ヒタルトキハ其失ヒタル日ヲ以テ支給ヲ終ル

二 府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法第七條第一項第四ニ當ルトキハ教職ニ任用スルノ辭令書ヲ受タル日同項第五ニ當ルトキハ公務ニ就キタル日ヲ以テ支給ヲ終ル

三 公務ニ就キ退職現時ノ俸給額ト同額以上ノ給料ヲ受クルトキハ其給料ノ支給ヲ始ムル日ノ前日ヲ以テ支給ヲ停メ其給料ノ支給ヲ終リタル日ノ翌日ヨリ支給ヲ復ス

四 三ヶ年以上受領ヲ怠リタルトキハ其受領ヲ怠リタル支給期月ノ翌月ヨリ起算シ其一期ノ支給ヲ廢ス

五 公權ヲ停止セラレタルトキハ監視ニ付セラルヘキ確定裁判ノ宣告ヲ受ケタル日ヲ以テ支給ヲ停メ刑期滿限ノ日ノ翌日ヨリ支給ヲ復ス

第十六條 扶助料支給ノ終始ハ左ノ各項ニ依ル
一 日本臣民タルノ分限ヲ失ヒタルトキハ其失ヒタル日重罪ノ刑ニ處セラレタルトキハ確定裁判ノ宣告ヲ受ケタル日ヲ以テ支給ヲ終ル
二 公權ヲ停止セラレタルトキハ禁錮ノ刑ニ處セラレ若クハ監視ニ付セラルヘキ確定裁判ノ宣告ヲ受ケタル日ヲ以テ支給ヲ停メ刑期滿限ノ日ノ翌日ヨリ支給ヲ復ス

三 公權停止中轉給ヲ受ケヘキ者ノ支給ハ本人停止ノ翌日ヲ以テ始メ復給ノ前日ヲ以テ終ル
第十七條 府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法第四條ニ掲ケタル增加退隱料ノ等差ハ左ノ如シ

- 第一項 兩眼ヲ盲シ若クハ二肢以上ヲ亡シタルトキ 十分ノ七
 - 第二項 前項ニ準スヘキ傷痍ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リタルトキ 十分ノ六
 - 第三項 一肢ヲ亡シ若クハ二肢ノ用ヲ失ヒタルトキ 十分ノ五
 - 第四項 前項ニ準スヘキ傷痍ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リタルトキ 十分ノ四
 - 第五項 一眼ヲ盲シ若クハ一肢ノ用ヲ失ヒタルトキ 十分ノ三
 - 第六項 前項ニ準スヘキ傷痍ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リタルトキ 十分ノ二
- 傷痍疾病ノ等差ハ明治十八年太政官達第十六號文官傷痍疾病等差例ニ依ル

第十八條 退隱料又ハ扶助料ヲ受クル者他ノ府縣ニ轉籍若クハ寄留スルトキハ從來居住地ノ府縣知事及轉籍若クハ寄留シタル地ノ府縣知事ニ届出ヘシ

府縣知事ニ於テ前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ甲乙兩廳間互ニ其者ニ係ル退隱料等支給方ノ承繼ヲ爲シ之ヲ文部大臣ニ報告スヘシ

第十九條 退隱料又ハ扶助料ヲ受クル者死去シ若クハ權利消滅シ又ハ公權ヲ停止セラレタルトキハ本籍市町村長ヨリ退隱料又ハ扶助料ヲ交付スヘキ府縣知事ニ報告スヘシ

第二十條 退隱料ヲ受クル者公務ニ就キタルトキハ其所屬主長ヨリ退隱料ヲ交付スヘキ府縣知事ニ報告スヘシ解職シタルトキ亦同シ其有給者ニ係ル報告書ニハ給料額及給料ノ支給ヲ始ムル日解職ノトキハ支給ヲ終リタル日ヲ附記スヘシ給料額ニ増減ヲ生シタルトキハ其時々之ヲ報告スヘシ

第二十一條 府縣知事ニ於テ第九條第二十條ノ報告ヲ受ケタルトキハ退隱料又ハ扶助料ノ交付ヲ止メ之ヲ文部大臣ニ報告スヘシ其遺族ニシテ扶助料ヲ受クヘキ者又ハ其轉給ヲ受クヘキ者ナキトキ又ハ退隱料ヲ受クルノ權利ヲ失ヒ若クハ扶助料ノ支給ヲ廢スヘキ者ニ係ルトキハ退隱料證書又ハ扶助料證書ヲ收メテ之ヲ文部大臣ニ納付スヘシ

第四章 雜則

第二十二條 府縣知事ハ第五條又ハ第十條ニ依リ退隱料證書又ハ扶助料證書ヲ本人ニ交付スルト同時ニ之ヲ本籍市町村長ニ通知スヘシ

第二十三條 水火災盜難等ニ依リ退隱料證書又ハ扶助料證書ヲ亡失シタル者ハ居住地ノ市町村長ヲ經テ退隱料又ハ扶助料ヲ交付スヘキ府縣知事ニ届出ヘシ

府縣知事ニ於テ前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ其事實ヲ調査シ亡失ノ事由ヲ具シテ文部大臣ニ申出ヘシ文部大臣ハ退隱料證書又ハ扶助料證書ノ謄本ヲ作り府縣知事ヲシテ之ヲ本人ニ交付セシム前項退隱料證書又ハ扶助料證書ノ謄本ハ本證書ト同一ノ効力アルモノトス

第二十四條 退隱料又ハ扶助料ヲ受クル者氏名ヲ改メタルトキハ退隱料證書又ハ扶助料證書ヲ添ヘ居住地ノ市町村長ヲ經テ退隱料又ハ扶助料ヲ交付スヘキ府縣知事ニ届出ヘシ府縣知事ハ證書ノ裏面ニ其事實ヲ記載シ署名捺印シテ本人ニ交付シ之ヲ文部大臣ニ報告スヘシ

第二十五條 此規則ニ規定スル府縣知事ノ職務ハ北海道ニ於テハ北海道廳長官之ヲ行ヒ市町村長ノ職務ハ市制町村制ヲ施行セサル地方ニ於テハ島司郡區長戸長又ハ之ニ準スヘキ者之ヲ行フヘシ

●文部省令第二號 (明治二十五年二月十日)

明治二十三年(十月)法律第九十號市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法第十四條ニ基キ市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料支給規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

第一章 退隱料ノ請求

第一條 市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法第二條第三條第四條第七條ニ依リ退隱料ヲ受クヘキ者ハ退隱料請求書ヲ作り退職ノ際勤務セシ小學校所屬市町村長ニ差出スヘシ

第二條 退隱料請求書ニハ左ノ書類ヲ添付スヘシ

一 在職中ノ履歷書

二 市町村長ノ證明シタル戶籍調書但市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法第七條ニ掲ケタル者ハ之ヲ要セス

第三條 職務ニ依リ傷痍ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ退隱料ヲ請求スル者ハ前條ニ掲グル書類ノ外尙左ノ書類ヲ添付スヘシ官吏恩給法第六條ヲ適用スヘキ者亦同シ

一 現認證書若クハ事實ヲ證スル公文ノ寫又ハ口供書

二 醫師ノ診斷書

第四條 退隱料請求書ヲ受ケタル市町村長ハ事實ヲ取調請求ノ理由アリト認ムルトキハ之ヲ證明シ證據書類ヲ添ヘ府縣知事ニ差出スヘシ

市町村長ニ於テ請求ノ理由ナシト認ムルトキハ意見ヲ具シテ之ヲ府縣知事ニ差出スヘシ

第五條 府縣知事ニ於テ前條ノ請求ヲ許可シタルトキハ退隱料證書ヲ作り之ヲ本人ニ交付スヘシ但退隱料増加ノ爲ニ更ニ退隱料證書ヲ交付スルトキハ前ニ交付シタル證書ヲ返納セシムヘシ

第六條 市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法第八條第一項ニ依リ給與金ヲ受クヘキ者ハ給與金請求書ヲ作り在職中ノ履歷書ヲ添ヘ退職ノ際勤務セシ小學校所屬市町村長ニ差出スヘシ

市町村長ハ事實ヲ取調證據書類ヲ添ヘ府縣知事ニ差出スヘシ
府縣知事ニ於テ前項ノ請求ヲ許可シタルトキハ辭令書ヲ作り之ヲ本人ニ交付スヘシ

市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法第八條第三項ニ依リ給與金ヲ受ケサルコトヲ申立ツル者ハ市町村長ヲ經テ府縣知事ノ承認ヲ受クヘシ

第二章 扶助料ノ請求

第七條

市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法第十條第十一條第一項第十二條ニ依リ扶助料又

ハ扶助金ヲ受クヘキ者ハ扶助料請求書又ハ扶助金請求書ヲ作り親族二名親族ナキトキハ近隣ノ戸

主二名連署シ退隱料ヲ受ケスシテ死去シタル者ノ遺族ニ在リテハ死者ノ最終勤務セシ小學校所屬

市町村長ニ退隱料ヲ受ケ死去シタル者ノ遺族又ハ扶助料ノ轉給ヲ受ク者ニ在テハ居住地ノ市町村

長ニ差出スヘシ

市町村長ハ其所屬市町村小學校正教員遺族ノ扶助料又ハ扶助金ヲ受クヘキ者アルトキハ扶助料又

ハ扶助金ノ請求上必要ナル書類ヲ遺族ニ交付スヘシ

第八條 扶助料請求書又ハ扶助金請求書ニハ市町村長ノ證明シタル戶籍調書及左ノ書類ヲ添付スヘシ

一 市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法第十條第一第二第十二條ニ當ル者ノ請求書ニハ市町村長ヨリ交付シタル死者ノ履歷書

二 市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法第十條第三ニ當ル者ノ請求書ニハ死者ノ退隱料證書

三 官吏遺族扶助法第四條第二項ヲ適用スヘキ者ノ請求書ニハ傷痍若クハ疾病ノ職務ニ起因シタル證據書類醫師ヲシテ診察セシメタルトキハ其診斷書及退隱料ヲ受ケスシテ死去シタル者ノ

遺族ニ在テハ本條第一ノ書類退隱料ヲ受ケ死去シタル者ノ遺族ニ在テハ本條第二ノ書類

四 扶助料ヲ受ケタル者死去シ又ハ權利消滅シタルトキ其扶助料ノ轉給ヲ受クヘキ者ノ請求書ニハ

前者ノ扶助料證書

五 公權停止ニ依リ扶助料ノ轉給ヲ受クヘキ者ノ請求書ニハ前者ノ確定裁判ノ宣告書寫

六 官吏遺族扶助法第十五條ヲ適用スヘキ者ノ請求書ニハ其事由ヲ詳記シタル書類醫師ノ診斷書

及退隱料ヲ受ケスシテ死去シタル者ノ孤兒ニ在テハ本條第一ノ書類退隱料ヲ受ケ死去シタル

者ノ孤兒ニ在テハ本條第二ノ書類公務ニ起因スル傷痕若シハ疾病ニ依リ死去シタル者ノ孤兒

ニ在テハ本條第三ノ書類扶助料ノ轉給ヲ受クヘキ孤兒ニ在テハ本條第四ノ書類

第九條 扶助料請求書又ハ扶助金請求書ヲ受ケタル市町村長ハ事實ヲ取調證據書類ヲ添ヘ扶助料又

ハ扶助金ヲ支給スヘキ地ノ府縣知事ニ差出スヘシ

府縣知事ニ於テ前項ノ請求ヲ許可シタルトキハ扶助料證書ヲ作りテ之ヲ本人ニ交付スヘシ其扶助

金ニ係ルモノハ辭令書ヲ用フヘシ

第十條 市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法第十一條第二項ニ掲ケタル給與金ノ請求等ハ扶

助金ノ例ニ依ルヘシ但癡疾若クハ不具ニシテ産業ヲ營ムコト能ハサル者ノ請求書ニハ醫師ノ診斷

書ヲ添付スヘシ

第三章 退隱料扶助料ノ支給及停止

第十一條 退隱料支給ノ期ハ退職ノ翌月ヨリ始マリ死去ノ月ヲ以テ終ルモノトス

退隱料及扶助料ハ其年額ヲ四分ノ四月七月十月一月ニ於テ其前三箇月分ヲ支給スヘシ但權利消滅

ノトキ及給與金扶助金ハ期月ニ拘ハラズ之ヲ支給スヘシ

第十二條 退隱料又ハ扶助料ヲ受ケタル者其金額ヲ受領セントスルトキハ退隱料證書又ハ扶助料證書

ヲ以テ其受領權アルコトヲ證明スヘシ

第十三條 退隱料ヲ受クヘキ權利消滅シ若クハ停止セラレヘキ者ノ支給ノ終始ハ左ノ各項ニ依ルヘ

シ

一 失職ニ該當スヘキ現職中ノ所爲確定シタルトキハ其確定ノ日禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルト

キハ確定裁判ノ宣告ヲ受ケタル日日本臣民タルノ分限ヲ失ヒタルトキハ其失ヒタル日ヲ以テ

支給ヲ終ル

二 市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料第五條第一項第四ニ當ルトキハ教職ニ任用スルノ辭

令書ヲ受ケタル日同項第五ニ當ルトキハ公務ニ就キタル日ヲ以テ支給ヲ終ル

三 公務ニ就キ退職現時ノ俸給額ト同額以上ノ給料ヲ受ケタルトキハ其給料ノ支給ヲ始ムル日ノ前

日ヲ以テ支給ヲ停メ其給料ノ支給ヲ終リタル日ノ翌日ヨリ支給ヲ復ス

四 三箇年以上受領ヲ怠リタルトキハ其受領ヲ怠リタル支給期月ノ翌月ヨリ起算シ其一期ノ支給

ヲ廢ス

五 公權ヲ停止セラレタルトキハ監視ニ付セラルヘキ確定裁判ノ宣告ヲ受ケタル日ヲ以テ支給ヲ

停メ刑期滿限ノ日ノ翌日ヨリ支給ヲ復ス

第十四條 扶助料支給ノ終始ハ左ノ各項ニ依ルヘシ

一 日本臣民タルノ分限ヲ失ヒタルトキハ其失ヒタル日重罪ノ刑ニ處セラレタルトキハ確定裁判ノ宣告ヲ受ケタル日ヲ以テ支給ヲ終ル

二 公權ヲ停止セラレタルトキハ禁錮ノ刑ニ處セラレ若クハ監視ニ付セラルヘキ確定裁判ノ宣告ヲ受ケタル日ヲ以テ支給ヲ停メ刑期滿限ノ日ノ翌日ヨリ支給ヲ復ス

三 公權停止中轉給ヲ受クヘキ者ノ支給ハ一人停止ノ翌日ヲ以テ始メ復給ノ前日ヲ以テ終ル

第十五條 市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法第三條ニ掲ケタル増加退隱料ノ等差ハ左ノ如シ

第一項 兩眼ヲ盲シ若クハ二肢以上ヲ亡シタルトキ 十分ノ七

第二項 前項ニ準スヘキ傷痍ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リタルトキ 十分ノ六

第三項 一肢ヲ亡シ若クハ二肢ノ用ヲ失ヒタルトキ 十分ノ五

第四項 前項ニ準スヘキ傷痍ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リタルトキ 十分ノ四

第五項 一眼ヲ盲シ若クハ一肢ノ用ヲ失ヒタルトキ 十分ノ三

第六項 前項ニ準スヘキ傷痍ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リタルトキ 十分ノ二

傷痍疾病ノ等差ハ明治十八年太政官達第十六號文官傷痍疾病等差例ニ依ル

第十六條 退隱料又ハ扶助料ヲ受クル者他ノ市町村ニ轉籍若クハ寄留スルトキハ轉籍若クハ寄留シ

タル地ノ市町村長ヲ經テ府縣知事ニ届出ヘシ

他ノ府縣ニ轉籍若クハ寄留スルトキハ轉籍若クハ寄留シタル地ノ市町村長ヲ經テ退隱料又ハ扶助料ヲ支給スヘキ地ノ府縣知事ニ届出ヘシ

退隱料又ハ扶助料ヲ支給スヘキ地ノ府縣知事ハ每期支給スヘキ退隱料又ハ扶助料ヲ轉籍若クハ寄留シタル地ノ府縣知事ニ送付シ其支給方ヲ委託スヘシ

前項ノ委託ヲ受ケタル府縣知事ハ之ヲ本人ニ交付シ其領收證書ヲ徴シテ委託ノ府縣知事ニ送付スヘシ

第十七條 退隱料又ハ扶助料ヲ受クル者死去シ若クハ權利消滅シ又ハ公權ヲ停止セラレタルトキハ本籍市町村長ヨリ退隱料又ハ扶助料ヲ支給スヘキ地ノ府縣知事ニ報告スヘシ

第十八條 退隱料ヲ受クル者公務ニ就キタルトキハ其所屬主長ヨリ退隱料ヲ支給スヘキ地ノ府縣知事ニ報告スヘシ解職シタルトキ亦同シ其有給者ニ係ル報告書ニハ給料額及給料ノ支給ヲ始ムル日

解職ノトキハ支給ヲ終リタル日ヲ附記スヘシ給料額ニ増減ヲ生シタルトキハ其時々之ヲ報告スヘシ

第十九條 第十七條ノ場合ニ於テ扶助料ヲ受クヘキ者又ハ其轉給ヲ受クヘキ者ナキトキ又ハ退隱料ヲ受クルノ權利ヲ失ヒ若クハ扶助料ノ支給ヲ廢スヘキ者ニ係ルトキハ本籍市町村長ハ退隱料證書

又ハ扶助料證書ヲ收メテ退隱料又ハ扶助料ヲ支給スヘキ地ノ府縣知事ニ送付スヘシ

本人他ノ市町村ニ居住セル場合ニ於テハ該市町村長ニ委託シテ之ヲ收ムルコトヲ得

第四章 雜則

第二十條 府縣知事ハ第五條又ハ第九條ニ依リ退隱料證書又ハ扶助料證書ヲ本人ニ交付スルト同時ニ之ヲ其本籍市町村長ニ通知スヘシ

第二十一條 水火災盜難等ニ依リ退隱料證書又ハ扶助料證書ヲ亡失シタル者ハ居住地ノ市町村長ヲ經テ退隱料又ハ扶助料ヲ支給スヘキ地ノ府縣知事ニ届出ヘシ
府縣知事ニ於テ前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ其事實ヲ調査シ退隱料證書又ハ扶助料證書ノ謄本ヲ作り之ヲ交付スヘシ

前項退隱料證書又ハ扶助料證書ノ謄本ハ本證書ト同一ノ効力アルモノトス

第二十二條 退隱料又ハ扶助料ヲ受クル者氏名ヲ改メタルトキハ退隱料證書又ハ扶助料證書ヲ添ヘ居住地ノ市町村長ヲ經テ退隱料又ハ扶助料ヲ支給スヘキ地ノ府縣知事ニ届出ヘシ府縣知事ハ證書ノ裏面ニ其事實ヲ記載シ署名捺印シテ之ヲ本人ニ交付スヘシ

第二十三條 此規則ニ規定スル府縣知事ノ職務ハ北海道ニ於テハ北海道廳長官之ヲ行ヒ市町村長ノ職務ハ市制町村制ヲ施行セサル地方ニ於テハ島司郡區長戸長又ハ之ニ準スヘキ者之ヲ行フヘシ
●文部省訓令第一號 (明治二十五年二月十二日)

北海道廳 府縣

明治二十五年(二月)文部省令第一號公立學校職員退隱料及遺族扶助料支給規則ニ依リ調製スヘキ計算書ハ左ノ書式ニ依ルヘシ

退隱料年額計算書書式甲號(始メテ退隱料ヲ請求シタル者ニ用フ)

退隱料年額計算書

元何學校長(教諭)(助教諭)(何々) 位 勲 爵 氏 名

何年何月生 明治何年何月
何年何箇月 何年何箇月

明治何年	何月	何日	任 何 官 (職)	何年何箇月
同 何年	何月	何日	任 何 官 (職)	何年何箇月
同 何年	何月	何日	任 何 官 (職)	
同 何年	何月	何日	何々ニ依リ退官(職)	除 算
同 何年	何月	何日	何學校雇(或ハ何々託)	
同 何年	何月	何日	任 何 官 (職)	計何年何ヶ月
同 何年	何月	何日	任 何 官 (職)	
同 何年	何月	何日	何々ニ依リ退職	何年何箇月

通計何年退職現時俸給年額金何圓ノ二百四十分ノ若干

(退隱料年額又ハ退隱料年額ト增加退隱料年額ト合セタル金額ノ四分ノ一)

退隱料年額金何圓

支給規則第十七條第何項ニ依リ退隱料最下金額金何圓ノ十分ノ若干

增加退隱料年額金何圓

右證據書類ニ依リ取調候處相違無之候也

年 月 日

取調主任 官 氏 名 印

每期給額 金何圓何十何錢

明治何年何月ノ給額

金何圓何十何錢(初期給額)

扶助料年額計算書ニ添付スルトキハ年數計算ノ末行「何々ニ依リ退職」及通計何年ノ下「退職」ヲ「死去」ト記シ増加退隱料及每期給額等ハ記載スルニ及ハス
勤務年數ニ拘ラズ退隱料ヲ給與スヘキ者例セハ准教員ノ退隱料年額計算ノ類ハ此書式中在職年數計算ニ關スル事項ヲ省キ適宜調製スヘシ

退隱料年額計算書式乙號(退隱料ヲ受ケタル後再ヒ退隱料ヲ請求シタル者ニ用フ)

退隱料年額計算書

元何學校長(教諭)(助教諭)(何々) 位 勲 爵 氏 名

何月何月生 明治何年何月何年何箇月

年月日任免ノ書式 何年何箇月

計 何年何箇月

右退職ノ節受ケタル退隱料年額金何圓

年月日任免ノ書式 何年何箇月

計 何年何箇月

通計何年退職現時俸給年額金何圓ノ二百四十分ノ若干

每期給額 金何圓何十何錢

退隱料年額金何圓

明治何年何月ノ給額 金何圓何十何錢(初期給額)

前ノ退隱料年額ニ比較シ金何圓

扶助料年額計算書式

取調主任 官 氏 名 印

扶助料年額計算書

元何學校長(教諭)(助教諭)(何々) 故位勲爵氏名寡婦(孤兒)(父)(母)(祖父)(祖母) 氏 名

何年何月生 明治何年何月何年何箇月

退隱料年額金何圓ノ三分ノ一(二)

扶助料年額金何圓

每期給額 金何圓何十何錢

右證據書類ニ依リ取調候處相違無之候也

明治何年何月ノ給額 金何圓何十何錢(初期給額)

年 月 日

取調主任 官 氏 名 印

退隱料ヲ受クヘキ資格ヲ有シテ死去シタル者ノ遺族ヨリ扶助料ヲ請求シタルトキハ此計算書ノ外退隱料年額計算書式甲號若クハ乙號ノ計算書ヲ添付スヘシ
扶助料ノ轉給ヲ請求シタル者ニハ退隱料年額ノ一行ヲ記載スルニ及ハス
官吏遺族扶助料法第十五條ヲ適用スヘキ者ノ計算書ハ此書式ニ準シ適宜調製スヘシ
扶助金計算書式

故何學校長(教諭)(助教諭)(何々)

扶助金計算書

位勳爵氏名寡婦(孤兒)(父)(母)(祖父)(祖母)

氏名

故氏名 在職年數

年月日任免ノ書式ハ退隱料
年額計算書書式甲號ニ依ル

明治何年 何月 何日 死

何年何箇月

計 何年何箇月

在職最終俸給年額金何圓ノ百分ノ一金何圓何十何錢ヲ在職年數ニ乗シタル額
金何圓何十何錢

右證據書類ニ依リ取調候處相違無之候也

年 月 日

取調主任 官 氏 名 印

官吏遺族扶助法第十一條ヲ適用スヘキ者ノ計算書ハ此書式等ニ準シ適宜調製スヘシ

●文部省訓令第二號 (明治廿五年二月十二日)

北海道廳 府縣

明治廿五年(二月)文部省令第二號市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料支給規則ニ依リ交付スヘ

キ退隱料證書及扶助料證書等ハ左ノ書式ニ依ルヘシ

退隱料證書書式 用紙ハ紙質堅緻ノモノヲ用フヘシ
寸法ハ縱九寸横一尺三寸輪廓付

退隱料證書

族籍

元何小學校訓導(准訓導)

位勳爵氏

名

退隱料年額金若干

生 年 月

市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法ニ依リ明治何年何月ヨリ前記ノ退隱料ヲ受クヘキ
コトヲ認メ此證書ヲ附與ス

年 月 日

此證書ハ市町村立小學校教員退隱料原簿第何號ニ登錄ス
北海道廳長官府縣知事位勳爵氏名印

北海道廳府縣書記官位勳爵氏名印

同上裏面

此證書ハ賣買讓與質入書入スルコトヲ得ス

水火災盜難等ニ依リ此證書ヲ亡失シタルトキハ居住地ノ市町村長ヲ經テ當廳ニ届出ヘシ

本人氏名ヲ改メタルトキハ此證書ヲ添ヘ居住地ノ市町村長ヲ經テ當廳ニ届出ヘシ

本人死去シタルトキ市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法ニ依リ扶助料ヲ受クヘキ者ア
ルトトキハ扶助料請求書ニ此證書ヲ添付スヘシ扶助料ヲ受クヘキ者ナキトキハ此證書ヲ返納ス
ヘシ

表書ノ年額ハ毎年四月七月十月一月ニ其前三箇月分ヲ給ス每期ノ給額左ノ如シ
金若干

但明治何年何月ノ給額ハ金若干

右金額ヲ受領セントスルトキハ此證書ヲ呈示スヘシ

扶助料證書書式 用紙寸法トモ退隱料證書々式ニ同シ

扶助料證書

族籍

故何小學校訓導位勳爵氏名寡婦

(孤兒)(父)(母)(祖父)(祖母)

位勳爵氏 生年月

名

扶助料年額金若干

市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法ニ依リ明治何年何月ヨリ前記ノ扶助料ヲ受クヘキ
コトヲ認メ此證書ヲ附與ス

年 月 日

此證書ハ市町村立小學校教員遺族扶助料原簿第何號ニ登録ス
北海道廳長官府縣知事位勳爵氏名
北海道廳府縣書記官位勳爵氏名

備考

公權停止中扶助料ノ轉給ヲ受クヘキ者ニ交付スル證書ニハ「明治何年何月ヨリ」トアルヲ
「何某公權停止中」ト記スヘシ

同上裏面

此證書ハ賣買讓與質入書入スルコトヲ得ス

水火災盜難等ニ依リ此證書ヲ亡失シタルトキハ居住地ノ市町村長ヲ經テ當廳ニ届出ヘシ
本人氏名ヲ改メタルトキハ此證書ヲ添ヘ居住地ノ市町村長ヲ經テ當廳ニ届出ヘシ
本人死去又ハ權利消滅シタルトキ市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法ニ依リ扶助料ノ
轉給ヲ受クヘキ者アルトキハ扶助料請求書ニ此證書ヲ添付スヘシ扶助料ノ轉給ヲ受クヘキ者
ナキトキハ此證書ヲ返納スヘシ

表書ノ年額ハ毎年四月七月十月一月ニ其前三箇月分ヲ給ス毎期ノ給額左ノ如シ
金若干

但明治何年何月ノ給額ハ金若干

右金額ヲ受領セントスルトキハ此證書ヲ呈示スヘシ

給與金辭令書書式 用紙適宜輪廓ナシ

元何小學校訓導

位勳爵氏

名

給與金若干

右市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法ニ依リ之ヲ給ス

年 月 日

北海道廳府縣

備考 支給規則第十條ノ給與金ノ辭令書ニハ本人肩書ヲ故何小學校訓導位勳爵氏名兄(弟)(姉)
(妹)ト記シ兄弟姉妹數名ノトキハ連名ニスヘシ

扶助金辭令書書式 用紙給與金辭令書書式ニ同シ

故何小學校訓導位勳爵氏名
寡婦(孤兒)(父)(母)(祖父)(祖母)

位勳爵氏

名

扶助金若干

右市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法ニ依リ之ヲ給ス

年 月 日

北海道廳府縣

●文部省令第四號 (明治二十五年三月三十一日)

明治二十四年(十二月)勅令第二百四十五號ニ依リ本年四月一日ヨリ登記印紙ヲ以テ納ムヘキ手数料
種目左ノ如シ

學校教員學力試驗手数料

學校教員免許狀授與手数料

●勅令第三十二號 (明治二十五年四月二日)

府縣立師範學校及公立中學校ノ學校長正教員並市町村立小學校正教員ノ退隱料又ハ遺族扶助料ニ關シ行政上ノ處分ニ依リ權利ヲ障害セラレヨリトスル者ハ一箇年以内ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得但左ノ事件ニ關シテハ文部大臣若クハ府縣知事ノ裁定ハ終審確定ノモノトス

一 傷疾疾病ノ原因及其輕重

二 職務ニ堪ユルト否ヲサルト

●文部省訓令第三號 (明治二十五年四月五日)

北海道廳 府縣

明治二十三年(十月)法律第九十號市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法ニ依レル小學校教員恩給ニ關スル翌年度豫算及前年度決算等ハ左ノ表式ニ依リ毎年一月三十一日限本大臣ニ報告スヘシ但明治二十五年收入豫算ハ本年五月三十一日限報告スヘシ

明治何年度小學校教員恩給ニ關スル豫算表

小學校教員恩給基金		收入之部	
收入區別	本年度豫算額	前年度豫算額	比
市町村立小學校教員納金			比 增
市町村納金			減 較
前年度歳入剩餘 金繰入			
合計			
小學校教員恩給基金		收入之部	
收入區別	本年度豫算額	前年度豫算額	比
小學校教員恩給 基金利子			比 增
國庫給與金			減 較
府縣費補充			
前年度歳入剩餘 金繰入			

何々	合計	支出之部		比較	
		本年度決算額	同年度豫算額	比 増	減 較
支出區別					
退隱料					
扶助料					
扶助金					
法律第八條給與金					
法律第十一條第二項給與金					
合計					

明治何年度小學校教員恩給ニ關スル決算表

小學校教員恩給基金		比較	
收入區別	本年度決算額	同年度豫算額	比 増 減 較
市町村立小學校教員納金			

小學校教員恩給基金現在高		比較	
種別	本年度末現在高	前年度末現在高	比 増 減 較
合計			
現金			
公債證書			
合計			

小學校教員恩給基金

收入之部		比較	
收入區別	本年度決算額	同年度豫算額	比 増 減 較
小學校教員恩給基金利子			
國庫給與金			
府縣費補充			
前年度歳入剩餘金繰入			

何々	合計	支出之部		比較
		本年度決算額	同年度豫算額	
支出區別				
退隱料				
扶助料				
扶助金				
法律第八條給與金				
法律第十一條第二項給與金				
合計				

●文部省告示第三號 明治二十五年四月十九日

本年(三月)文部省令第四號ニ係リ登記印紙ヲ以テ手数料ヲ納ムルニハ學校教員學力試驗手数料ニ係ルモノハ地方廳ニ於テ願書ノ査閲ヲ受ケタル後其願書ニ學校教員免許狀授與手数料ニ係ルモノハ免許狀受領ノトキ其受領書ニ印紙ヲ貼付シ消印スヘシ

●奈良縣訓令甲第七十九號 (明治二十四年九月十一日)

縣立學校

其校職員旅費左表ノ通改正シ本月五日ヨリ施行ス但支給方ハ明治十九年閣令第十四號内國旅費規則ニ依ル

旅費額表

資格	汽車賃 每一哩	汽船賃 每一海里	馬車賃 每一里	日當 每一日
委任待遇者	六錢	六錢	十錢	一圓二十錢
判任待遇者	四錢	五錢	六錢	五十錢
教員心得及雇員	三錢	四錢	五錢	三十五錢

●奈良縣令第二十九號 (明治二十五年三月二十八日)

町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料納金收入規則左之通相定ム

町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料納金收入規則

第一條 市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法第十四條第二項ニ依リ町村ヨリ本縣ニ納ムヘキ金員ハ毎年四月十日及十月十日マテニ其前六ヶ月分ニ仕譯書ヲ添ヘ之ヲ郡長ニ納付スヘシ
前項ニ依リ町村ヨリ納付シタル金員ハ郡長ニ於テ之ヲ取纏メ其月十五日マテニ仕譯書ヲ添ヘ知事ニ納付スヘシ

第二條 市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法第十四條第三項ニ依リ町村立小學校正教員ヨリ本縣ニ納ムヘキ金員ハ俸給仕拂ノトキ郡役所會計吏又ハ町村收入役ニ於テ之ヲ差引スヘシ

第三條 前條ニ依リ差引シタル金員ハ郡役所會計吏又ハ町村收入役ヨリ毎翌月十日マテニ仕譯書ヲ添ヘ之ヲ郡長ニ納付スヘシ

前項ニ依リ郡役所會計吏又ハ町村收入役ヨリ納付シタル金員ハ郡長ニ於テ之ヲ取纏メ其月十五日マテニ仕譯書ヲ添ヘ知事ニ納付スヘシ

學事法令全書畢

明治二十五年五月十九日印刷竣功
同年同月二十日出版

發行 者 阪 田 稔
奈良縣添上郡奈良町大字橋本三十六番地

編輯 者 西 谷 善 彰
奈良町大字十輪院十番屋敷寄留

同 加 藤 彌 太郎
所寄留

印刷 者 吉 村 庄 八
奈良町大字東向中拾番地



